

と。極東に於ける日露衝突の砲聲が、支那西陲にまで響き渡りしとは、聊か意外の感なき能はず。又印度の貿易金額は、露國の約三分一に過ぎずと云ふ。當地銀行は一の露清銀行支店あるのみ。通貨は、露、清、印度の各貨幣流通す。當時に於ける其の比價大約左の如し。

露

清

一ループル (銀貨)

銀六錢

五ループル (金貨)

同三兩一錢

十ループル (金貨)

同六兩二錢

紙幣は五分内外安値なり

英印度貨

一ルビー (銀貨)

銀三錢七分五厘

但し紙幣は通用せず

當地の主産物は綿花、羊毛、紬、綿布等とす。

此地は前記の如く諸方の人民蟻集する爲め、之を他方に比すれば、自ら人情稍々

主産物